



進路ガイダンス＝自己分析や企業研究など、就職活動に関する情報を学生に伝えるため、3年次の4月から開講されている

2008年度就職戦線

就職決定率95.4%

「就職に強い大学」を証明

2008年度の就職戦線は、年末の世界的金融不況の大きな影響を受けた。本学の学生も10月までは順調に就職活動の成果を上げていたが、11月以降は苦戦を強いられた。しかし、最終的な就職決定率は95.4%（前年度比2.0%増）で、不況下でも、学生たちの健闘が光った。また、全卒業生に対する就職決定者の割合も74.3%（同7.0%増）と、07年度全国四年制大学平均69.9%（08年度は未発表）を上回り、本学が「就職に強い大学」であることを証明した。

4年次後期 初の合同セミナー開催

個別指導も徹底 高い成果上げる

本学では新たな就職支援策として、活動が厳しくなった昨年10月から3カ月連続で4年次生向けの合同セミナーを初めて開催した。このセミナーで内定を得た学生も多く、高い成果を上げた。さらに、従来に比べ個別指導を徹底。就職の問題だけにかかわらず、保健室や学生相談室とも連携してカウンセリングにも力を入れ、学生生活によって生じるストレスのケアにも努めた。

今年度は2年目を迎えた1、2年次生向けのキャリア教育が本格的に始



就職資料室＝求人情報、企業情報、就職活動記録のほか、パソコンなどの就職活動に役立つアイテムがそろった

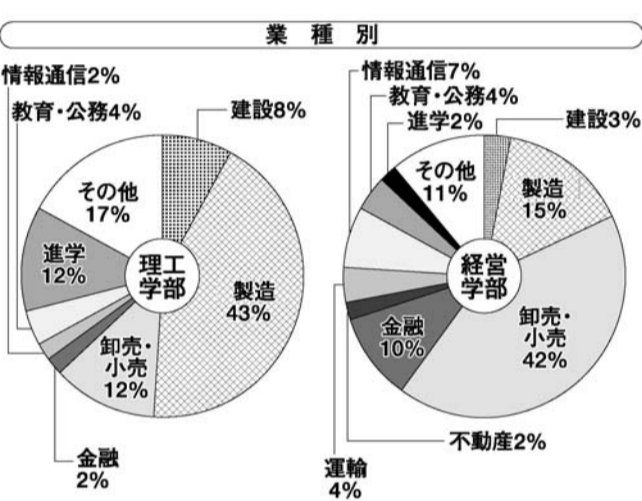
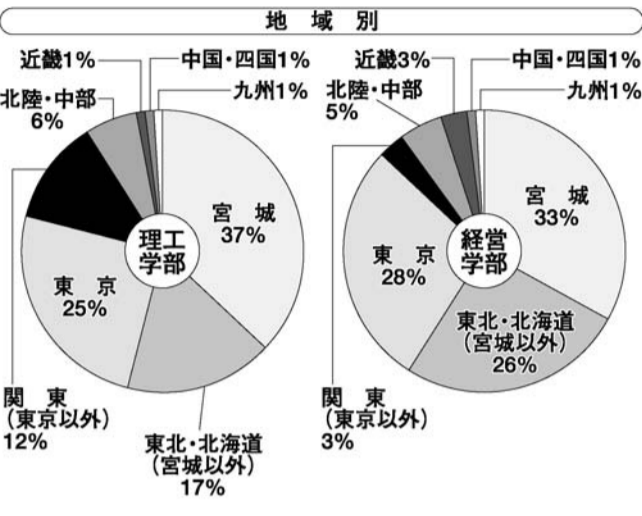


先輩たちの就職活動体験談＝3年次生を対象に、内定を得た4年次生が、自らの「就活」体験談を伝える



面接対策講座＝採用コンサルタントを招き、本番に向け、模擬面接を行う

3年次生に対してはどんな環境にあっても「学生が不利にならないよう」という視点に立ち、指導プログラムを改善。前年度は採用の一層の早期化・厳選化が見られたため、早めに自己分析に取り組みよう促すなど、指導スケジュールを1カ月前倒しした。また、体験型の指導プログラムを増やし、実践的な「就職合宿」を夏・冬の2回開催することや、新たに警察・消防・自衛隊などへの公務員体験学習を行うなど、より手厚い就職支援体制を整えていく。



個性重視のサポート体制 充実した進路支援 4年次生に聞く

高橋 啓美さん
基礎理学科
宮城県仙台育英学園高

かけになりました。就職活動は企業を見る

には積極的にエントリリーが多かった分、時間学内の模擬面接(12月)「働く」ということが管理が難しかったです。より早く、初面接試験が良く分かっていない中、スケジュール帳を時間係で個別に指導していただき、切り抜けました。先生方にも温かいアドバイスをいただき、周りの支えが内定につながりました。

周囲の支えで内定獲得

吉川 昌隆さん
機械工学科
岩手県花巻南高

期休中に本学で行われた学生対象の「みやぎ力

の授業では使わない、専門的な解析ソフトを使う必要だと思いましたが、先端技術に携わりたいという思いが、就職活動の大きな支えになりました。私にはエントバランスをとりました。

自己分析の大切さ知る

松本 壮太さん
情報電子工学科
宮城県聖和学園高

を希望。今年4月からは先生の紹介により、独立

作成を行っています。周知を深めようと、本学大や設計に携わりたいと考えています。就職活動を通して、最先端の技術開発の面白さを実感した反面、より専門的な知識の習得が必要であることを痛感しました。大学院で

より高い専門知識求め

後藤 恵さん
生物生産工学科
山形県山形北高

で、1年次から必要な科目を履修しています。

な知識・技術に触れることができ、充実していると感じました。大学院で

進路支援の企画で磨く

嶋貫 諭さん
経営学科
山形県米沢商業高

ゼミナール大会」に参加している大坂良宏教授の

やりがいを学びました。はじめ、模擬面接やエントリーシートへの添削など、健康に留意した新商品の開発に携わりたいと考えています。

証券ゼミ参加が自信に

石巻専大に石鳳会計研究会があることにひかれ入学を決めました。企業論、財務管理関係の科目をメインに全日本証券研究会主催の「証券

ゼミ」に入りました。3年次の12月の大会に向け

に対する認識が高まりました。大会では全国の学生と知り合い、自分の力と自信を証明しました。

進路ガイダンス

石巻専大に石鳳会計研究会があることにひかれ入学を決めました。企業論、財務管理関係の科目をメインに全日本証券研究会主催の「証券

ゼミ」に入りました。3年次の12月の大会に向け

に対する認識が高まりました。大会では全国の学生と知り合い、自分の力と自信を証明しました。